

## 手指の第一関節に異常を来たす

「指の第一関節付近が腫れて痛い」「関節の両側にこぶができる」「人差し指が第一関節から内側に曲がってきた」などの症状を訴え、来院する中高年の女性は少なくありません。こうした症状が見られる場合、「ヘバーデン結節」である可能性があります。

手指の第一関節のことを、専門的には「DIP関節」といいます。ヘバーデン結節とはこのDIP関節に起る病気であり、さまざまな原因により関節に痛みや腫れを生じ、関節の変形を来たす「変形性関節症」の一つです。この病気を発見したイギリス人医師、ウイリアム・ヘバーデンの名前について、ヘバーデン結節と名付けられました。

主な症状は、DIP関節の両側がこぶの



ヘバーデン結節を発症した手。  
手の第1関節に変形が見られる。

# 知って安心! シニア世代の気になる病気

中高年女性は要注意!  
指関節が変形して痛む

## ヘバーデン結節

ヘバーデン結節——あまりなじみのない病名かもしれません。

更年期以降の女性に多く見られ、悪化すると手で物がつかめなくなるというこの病気について、手外科専門医の菊地淑人さんに解説していただきます。

きくち整形外科院長  
**菊地淑人さん**

きくち・よしと●医学博士。慶應義塾大学医学部卒業。川崎市立川崎病院整形外科医長、さいたま市立病院整形外科医長などを経て、2006年、東京都調布市深大寺に「きくち整形外科」を開院。手外科専門医として、手・指・腕の病気の治療に当たる。監修書に『手根管症候群とヘバーデン結節の治し方』(日東書院)がある。



ように膨らんだり、関節が曲がったりして変形を起こし、指を動かしたり押したりすると痛みが生じます。関節の変形によって指先の動きも悪くなり、指を曲げると痛いために手を強く握ることが難しくなりますが、これが原因で、手の機能が悪くなることがあります。

ヘバーデン結節は女性に多く見られ、四〇代以降の発症が多いとされています。指の腫れや変形によって見た目が気になつたり、強い痛みを感じたりしたことがきっかけで、受診する人が多いようです。

### 加齢や手指の酷使が原因

ヘバーデン結節は、加齢によつて関節の軟骨がすり減ることで起こることと考えられて

います。また、手指を酷使する職業の人にも多く見られ、指の使い過ぎの原因の一つ

どの症状を緩和するために、軟膏・湿布など

は、症状を抑えるためにテープニングを利用